

国際探究 I 「国際探究ガイダンス」

(日時) 平成28年4月14日(木) 14:15～16:05

(場所) 本校第一体育館

(対象) 1年生全員239名

(講師) ガイダンス

本校「国際探究 I」研究班

平田 哲久

基調講演

秋田県立大学生物資源学部教授

長濱 健一郎 氏

(目的) 課題研究活動の開始にあたって、活動ファイルと活動ガイドブックを配付し、年間の具体的な活動計画を把握する。

研究テーマである世界の「食糧問題」とは何か、様々な問題を内包した地球規模の社会問題であることを知る。

(内容) 国際探究ガイダンス及び基調講演

(生徒の活動評価)

活動観察、メモ・振り返りシート、質問内容

(指導上のポイントと仕掛け)

活動ガイドブックを配付し読み合わせをすることで、授業内容と今後の見通しをイメージさせる。会場でクリアブックに科目名と氏名を記入させることで、授業そのものに主体的に取り組んでいくことを意識させる。

(講座を振り返って)

第1回目の授業であったが、ガイダンスでどんどんメモをとるように指示したことが功を奏したのか、多くの生徒がメモをとることに集中していた。聴く姿勢も概ね良好であった。質問は2名しか出なかったものの、その質の高さに感心させられた。今年度も意欲の高い生徒が出てきそうな予感がある。様々な場面で生徒の知的好奇心をくすぐるような仕掛けを施し、国際探究 I の授業を活発なものにしていきたい。

(生徒の振り返りから)

- ・ 私は多国籍企業とグローバル企業をずっと同一のものだと思っていましたが、今回の講話でそれが誤りであることを知りました。そのことから、世界は一つの価値観でなく、多様性をもっている、それを認める必要があるという長濱教授の意見に共感を覚えました。
- ・ 今日、一番驚いたのは、「世界人口を賄うだけの食糧が生産されている」ということだった。足りないのなら何とかつくり出さうと思うが、量として足りているのなら、「どれだけ無駄を省けるか」ということが問題解決の鍵になるのではないだろうか。

